



New! まちライブラリーの紹介

NO. 901 (大阪府 大阪市住吉区)

Cafébeansまちライブラリー

じっくり一人で読書を楽しむことも、円卓で様々なテーマについて熱く語り合うこともできる場所です。こども食堂も運営しているので、子どもだけで立ち寄っていただくことも可能です。どうぞお気軽に!

- Web: <https://www.cafebean.online/>
- オーナー: 合同会社VISION

NO. 921 (埼玉県 川越市)

つるがしまどこでもまちライブラリー川越 @ブルーフェアリー

観光名所である「熊野神社」の斜め前にある手づくり帽子のお店「ブルーフェアリー」の一角に本棚を設置しています。川越の街歩きに疲れたら、本を片手に一休みしませんか。

- オーナー: ブルーフェアリー 松本敬子

NO. 941 (北海道 札幌市)

まちライブラリー@こすずめ文庫

住宅街で、ひっそりと開きたい小さなライブラリーです。児童書や絵本、もちろん大人向けの本もそこそこ充実しています。本を通じて地域のみなさんと♪

- Web: <https://kosuzume.hp.peraichi.com/books>
- オーナー: 小倉マカナ

NO. 942 (大阪府 枚方市)

まちライブラリー@とかとか

大阪府の北の端っこ枚方市の、さらに北の端っこ楠葉にあります。内装や木製の本棚はすべて手作り。絵本や児童書、アートの本をたくさん置いてあります。絵本と音楽、ものづくりなどのイベントも不定期で行っています。

- Instagram: tokatoka_book
- オーナー: 浪本浩一



NO. 943 (埼玉県 さいたま市)

まちライブラリー@故郷 in Saitama

巣箱型の本棚に、日本語とベトナム語の2種類の本を置いています。ベトナムの文化・風習を伝える本や、ベトナム人作家の小説などを紹介しています。読書を通して、両国の交流が深まりますように。

- Facebook: まちライブラリー@故郷 in Saitama
- オーナー: ホアン ナム フォン

NO. 944 (徳島県 徳島市)

星空文庫

NPO法人 心の帆の事業の一環として、地域住民の方や学生さんを中心に気軽に立ち寄ってもらえるスペースを設けました。本の閲覧や貸出を通じて、読書環境の充実とともに安心安全なまちづくりに取り組みます。

- オーナー: 特定非営利活動法人 心の帆

NO. 945 (北海道 札幌市)

まちライブラリー@NPOボラギャング

「こども食堂」「学習サポート」「防災啓発活動」を行うNPO団体の事務所の一角にあるライブラリーです。絵本、雑誌、小説、漫画など色々取り揃えていますので、子どもから大人まで楽しめます!

- Web: <https://volungang.themedia.jp/>
- オーナー: NPO法人ボラギャング 野澤美香

NO. 946 (福島県 福島市)

カーロふくしま みんなの本棚

2011年より東日本大震災被災者支援活動を続けている日本YWCAでは、子どもや学生、女性たちを対象に、みんなの交流の場をスタートしました! じゅうたん敷きなので、ごろんと寝そべるなど、自由に楽しんでください。

- Web: <https://www.ywca.or.jp/category/news/greatestjapanearthquake/caro/>
- オーナー: 公益財団法人日本YWCA カーロふくしま 実生律子

NO. 947 (神奈川県 横浜市鶴見区)

Qのまちライブラリー

レアールつくの商店街にあるレンタルスペース STARTBASEQの本棚にある本を、毎月第1土曜日のマルシェの日に合わせて軒先に出して、地域の方に貸し出しています。本好きの方々が集まって読書会等も行います。

- Facebook: 合同会社ふくわらい
- オーナー: 合同会社ふくわらい



NO. 951 (大阪府 東大阪市)

まちライブラリー@布施

英語が読めなくても、絵本の色や登場人物、景色などを通して英語圏の文化に親しみを感じ、ひいては英語に興味を持ってもらいたいと思っています。対象を中高生にも広げて、定期的にイベントを実施していく予定です。

- Facebook: まちライブラリー@布施
- オーナー: NANNO & COMPANY 南野佳美

NO. 952 (兵庫県 神戸市)

まちライブラリー@みなとじま

大人も子どもも、ここに来れば誰かと話せる温かい場所をめざし、地域のみんなで運営する私設図書館です。近隣の大学の協力のもと、小中学生の学習支援も行っています。ひと棚オーナーによるワークショップも開催中!

- Instagram: machilibraryminatojima
- オーナー: 藤本絵里子

NO. 953 (北海道 札幌市)

まちライブラリー@hug*cafe BASE

子育て世代が集うコミュニティスペースで、子育てサロンやいろいろなイベントを行っています。子ども向けの絵本から大人向けの本まで、みんなのお気に入りの本が並んでいますので、お気軽に遊びに来てください。

- Instagram: machi_library_hugcafebase
- オーナー: 齊木有希子

NO. 954 (宮城県 都農町)

つつの駅まちライブラリー

のどかで小さな町「都農町」の玄関口でもあるJR都農駅の休憩スペースで、絵本や観光情報、町を紹介する本や写真集などを揃えています。人、本、風景との新しい出会いや交流が生まれる心地よい場所をめざしています。

- Web: <https://www.tsunokanko.com/>
- オーナー: 都農町観光協会

NO. 955 (東京都 八王子市)

まちの図書室 まちの保健室 おさんぽ

誰でもいつでも好きな本を読むことができ、本を通して緩やかな人とのつながりを感じられる場所をめざしています。たくさんのマンガと少しの絵本や小説などがある6畳の小さな図書室で、ホッとする時間を過ごしませんか。

- Instagram: toshoshitu_osanpo
- オーナー: 田沼尚美

NO. 956 (北海道 札幌市)

まちライブラリー@あかり文庫

和太鼓をリメイクして作った本の巣箱を自宅の前に設置しています。小説や漫画、絵本など、本好きの一家が選んださまざまな本を取り揃えていますので、どなたでもお気軽にお立ち寄りください。

- オーナー: 大野有加



NO. 958 (千葉県 千葉市)

夢の扉Cottage

当面はイベントに合わせての活動を予定しています。グラマが孫を膝の上に乘せて絵本を読むように、たくさんの子どもたちにたくさんの絵本をやさしく読んであげたいです。

- オーナー: スミス砂恵子

本が人をつなぐ ブックフェスタでの出会い



まちライブラリーに関する
情報はこちらから
<https://machi-library.org/>

秋 も深まりだしましたが、皆様いかがお過ごしですか？

長野県茅野市のまちライブラリー蓼科山荘では、すでに初雪も降り、朝晩は氷点下の気温になっています。今年の冬は早そうですね。

9月から始まった「まちライブラリーブックフェスタ・ジャパン2022」は各地で実施され、私も一部ですが、参加してきました。

9月初旬には、北海道千歳市の市内中心部にあり「グリーンベルト」と呼ばれている道路公園と「まちライブラリー@ちとせ」を舞台に様々なイベントが実施されました。市民ボランティアや市長をはじめ市役所の方々も応援してください、道路公園の芝生広場では、古本市や絵本の読み聞かせ、音楽イベントも実施されました。圧巻は「巣箱型本棚」のグランプリでした。薪割りを体験させるアウトドアをテーマにしたものや、着物をテーマにしたもの、木の幹をくり抜いて作成した力作など6グループが見事な本箱を設置してくれました。グランプリに輝いたのは、アイヌをテーマにしたものでした。300名を越える投票があり、まちぐるみで応援していただきました。

茅野市では、駅前商業施設と駅中通路を使ったトークイベントや古本市を実施し、賑わ

いました。こちらでも市長が参加され、まちを挙げてのお祭りになってきました。

大阪では、「まちライブラリー@もりのみやキューズモール」を中心に地域と連携したイベントが実施されました。大阪公立大学では、「マイクロ・ライブラリーサミット」を実施し、久しくお会いしていなかった小さな図書館活動をしている人たちと深い議論を楽しみ、懇親会にもお集まりいただきました。

また、兵庫県芦屋市にあるまちライブラリーを2か所訪問してきました。一つ目の「『はるのうた』まちライブラリー」さんは、八幡圭子さんご夫婦が始められたブックカフェです。元々、大学図書館で働いていた八幡さんが、手持ちの本を置いて始めたところ、近くの人が様々な本を持ち寄ってくださるようになりました。その中で『勇者たちへの伝言 いつの日か来た道』（増山実著）を持ってこられた人がいたそうです。普段読まない小説でしたが、読んでいるうちに八幡さんは著者のファンになり、いくつかの本を買って配架するようになりました。それを見たお客様がSNSに投稿したところ、増山さんが突然、お店に来られたそうです。その後、さらに人の縁が広がり、「まちライブラリーブックフェスタ・ジャパン2022」の一環で、兵庫県尼崎市

の「小林書店」でイベントを実施されました。ちなみに「小林書店」は、『仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ』（川上徹也著）のモデルとなった書店で、著者の川上さんとのトークイベントができ、本から生まれた思いがけない出会いが続いているそうです。

二つ目の「us (アス) ラボ@まちライブラリー」さんは、小山美和さんが所属し、お姉さんが代表をされている社団法人が運営しています。ドバイからの留学生と日本人をつなぐ目的で始められました。現在は、小山さんご家族の介護もあり臨時休館中ですが、私が訪れた日は特別にお仲間と集まってくださり、本談義をさせていただきました。

部屋には数百冊の本があり、そのいくつかを紹介してくれました。沖縄に生きる人の慟哭を書き上げた『海をあげる』（上間陽子著）、アフリカ・タンザニアに30年滞在し、革命児ともよべる活躍をする夫の島岡強氏をテーマにその妻が書いた『アフリカから、あなたに伝えたいこと 革命児と共に生きる』（島岡由美子著）、そして圧巻の本は、小山さんのお姉さんである谷口愛さんの著書『どん底からでも人生は逆転できる。』でした。

姉妹がともに小学校低学年だったとき、お二人のご両親が事業の失敗から出奔し、何日も

帰ってこない日々があったそうです。谷口さんが15歳からホステスとして働きながら家族を支え、ご主人の支えで米国の有名大学院に行き、最後にはドバイの政府要人とのご縁で現在の仕事をするまでの人生を語っておられます。赤裸々な人生がそこにあり、どんな境遇でも最後まで諦めずに妹を助け、家族を守ることに専念してきた人生が描かれていました。

ブックフェスタを通じて、まちライブラリーという場が、様々な人の人生に少なからず影響を与えていることを改めて感じた2カ月間でした。前述の小山さんに紹介された『集まる場所が必要だ 孤立を防ぎ、暮らしを守る「開かれた場」の社会学』（エリック・クリネンバーグ著）には、「図書館という宮殿」の章で米国のコミュニティ形成における図書館の役割について事例を交えて紹介しています。まちライブラリーでも公共図書館同様、否それ以上の役割があることを確信しました。皆さんのまちライブラリーも大切に育ててください！そこにいる方々の生きがいが生まれることを楽しみにしています。

2022年11月

まちライブラリー提唱者 磯井純充
連絡先 mail : MSJ00657@nifty.com